

ノーリツ、売電事業に本格参入！ 太陽光発電モジュールを作る加古川工場で発電開始

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ（本社：神戸市、取締役社長：國井総一郎、資本金：201億円、東／大証一部上場）は、太陽光発電による売電事業に本格参入します。太陽光発電モジュール（以下、太陽光パネル）を生産する加古川工場(兵庫県加古川市)を増築し、約1MW相当の太陽光発電システムを設置。7月18日より運転を開始します。



加古川事業所太陽光発電所には、太陽光発電モジュールを約4,000枚設置。合計982.8kWhの出力規模で、発電量は一般家庭の約150世帯分に相当します。CO₂排出量は年間約270トン削減の見込みです。得られた電力は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づき、全量を電気事業者に売電いたします。

当社は、中期経営計画「Vプラン16」（2011年～2016年）で新エネルギー分野の拡大を掲げ、太陽光発電システムの普及をすすめています。7月10日には住宅用多結晶太陽電池モジュールでは、国内最高の高出力・効率となる太陽光パネル「PVMDシリーズ」を発売しました。家庭用、産業用の太陽光発電製品の生産に加え、売電事業への参入により新エネルギー分野を強化します。加古川事業所太陽光発電所に続き、神戸市所有の六甲アイランド地区航空貨物上屋（屋根）を活用した発電所の稼働も予定しております。

発電所名	加古川事業所太陽光発電所
事業運営会社	株式会社ノーリツ
設置場所	加古川市八幡町宗佐 576-1
出力規模	982.8kWh
年間発電量	約699,538kWh
パネル設置面積	約6702.7㎡(4,095枚)
CO ₂ 削減量	約270トン/年
建設費用	約3億円
運転開始	2013年7月18日